

映画「かずかな光へ」

8日に岡谷で上映

すわこ文化村

すわこ文化村は1月

学名誉教授、日本子ど

8日(日)、ドキュメ

もを守る会名誉会長な

ンタリー映画「かずか

な光へ」(森康行監督、

2011年)の上映会

を岡谷市長地権現町の

諏訪湖ハイツで開く。

映画は戦前戦後の日本

の社会と人間を見つ

め、教育の在り方を問

い続けてきた教育研究

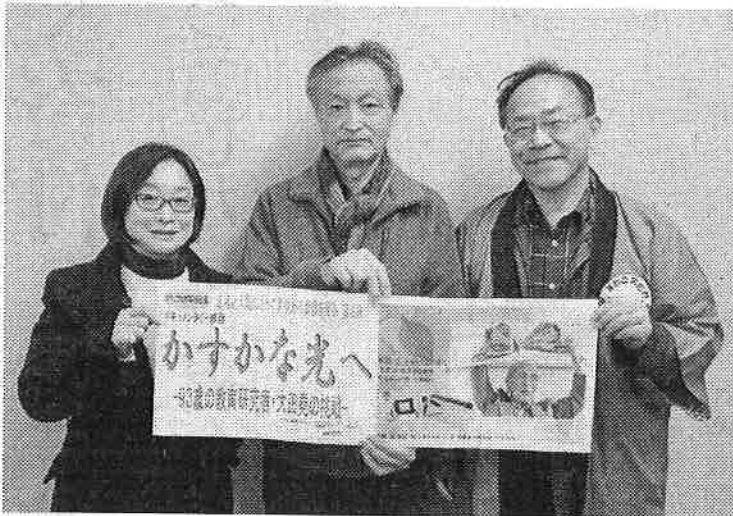
者、大田堯さん(撮影

当時(93)の姿を通し

て未来を見つめる。

大田さんは広島県出

身で、東京帝国大学卒。
東京大学、都留文科大



上映をPRする関係者

を経て、さまざまな生
活現場に生きる人たち
と触れ合う中で進めて
きた教育研究は「教え
育てる」という既成の
教育観を根底から覆す
ものだった。

文化村の毛利正道さ

んは「見た

人や、自分

の人生観を

揺るがす映

画ではない

か」とする。

「良質な文

化を通じ

て、人と人

とのつなが

りの再生を

目指す」と

いう同団体

の趣旨とも

通じ、「人と人は違っ
ていていいのではな
く、違っていて当たり
前。人とのつながりが
希薄になる中、映画を
通じて子どもも大人も
そういう見方のできる
社会になれば」と願う。

上映は午前10時、午

後1時、4時からの3

回。終了後にはそれぞ

れ、自由参加で映画の

内容について話す会も

持つ。参加費は千円

(中学生・大学生50

0円、小学生以下無

料)。

問い合わせは、すわ

こ文化村(電080・

1040・7463)

へ。

教育のあり方考える

すわか
文化村

1月8日岡谷で上映会

文化企画を通じて人同士のつながりの構築を目指す「すわか文化村」(毛利正道代表理事)は来年1月8日に自主上



多くの来場を呼び掛ける関係者

映会を岡谷市の諏訪湖ハイツで開く。作品は教育研究者、大田堯(たけ)さんの姿を通して教育のあり方を問うドキュメンタリー映画「かすかな光へ」。

午前10時、午後1時、

同4時からの3回上映する。

作品では「教える育てる」教育ではなく、教師、生徒が共に育み、育まれる「共育」の大切さをさまざまな活動の様子を通して訴える。自主映画上映に取り組む諏訪地方の有志グループ「Nature People Gathering(ネイチャー・ピープル・ギャザリング)」が10月に茅野市で上映会を行い、好評だったという。

上映後は自由参加で映画の感想について語らう「おしゃべり会」がある。同グループのメンバーで文化村の村民(会員)でもある清水美雪さんは「この映画を鑑賞後、一人ひとりが違っていいではなく、一人ひとりが違って当たり前という考え方を聞いては

長野日報 2016. 12. 31

っとした。違いを受け入れる大切さが見る人に伝わるとい」と話していた。

参加費は大人1000円、

中学〜大学生500円、小学生以下無料。問い合わせは同村(電話080・1040・7463)へ。(野村知秀)